

「入善沖洋上風力発電施設と入善町のごみ処理視察研修会」

視察日程

I ①入善町のごみ処理とリサイクル

I 豊かな自然環境の保全と継承

①豊かな水環境の保全

②豊かな緑の保全

II 地球環境問題への対応

①地球温暖化対策の推進

②リサイクルの推進

②ごみ再生とリサイクル

入善町の再生広場各地域毎に開設

(中央再生広場見学)

中央再生広場



付長...小主家電の又リハカレ



II 入善沖洋上風力発電施設見学

事業者 入善マリンウィンド(WARINE WIND)合同会社(株ウエンディ・ジャパン JFE 北陸電力)

- ① 発電所 入善洋上風力発電所
住所 富山県下新川郡入善町横山1818番地1
- ② 発電設備 風車/MingYang 製 3,000キロワットX3基
出力/最大t,495キロワット(出力抑制)
※約3,600世帯分の年間消費電力を賄う発電規模
(風速 3m/~20mまで 以上になると自動停止)
- ③ 送電線 総延長/約5.61 km (海底3.81km、陸上! .80km)
電圧/22,000ボルト
- ④ 変電所 富山県下新川郡入善町入膳字猿角場5754-1
(東洋紡績跡に大型変電所が残っていたため変電所が近かった)
- ⑤ 工事着工 2022年11月
建設工事に使用するためSEP船到着
- ⑥ 運転開始 2023年9月



建設費用・・・一基約20億円X3基

耐震・・・・・・・震度7.0 対応

高さ・・・海面下 150M 上 85M

羽長さ 1本 66M

耐用年・・・20年 メンテナンス 30年以上

入善町の税收・・・年/6、000万円

完成



- 現在では一般海域での洋上風力は国の公募となりますが本事業は公募制度が始まる以前の事業です
- 自航式SEP船(BLUE WINDJII,洋上風力発電施設清水建設株)が約5 0.0億円を投じて
・完成させた世界最大級の搭載能力とクレーン性能を備えた船です

Ⅲ 新川広域圏事務組合ごみ処理施設 「エコぽ〜と」

- ① 年間処理量 年/29,000t 1日/100t(40台)
処理費用 1日/¥13,000/t 年/約4億円
年1人/約253kg
- ② 年間処理負担金 魚津・黒部・入善・朝日 人口割り負担
- ③ ピットの大きさ 縦 10m 横 23m 深さ 12m

【充実した公害防止対策】

・ごみは「流動床式焼却炉」で完全燃焼され、焼却残渣灰は、乾いた状態で衛生的に取り出される
・排ガス中のばいじん、ダイオキシン類などの有毒ガスは、高効率ガス処理設備により除去します。

・ろ過式集じん器、・活性炭吹込装置

【ダイオキシン類低減対策】

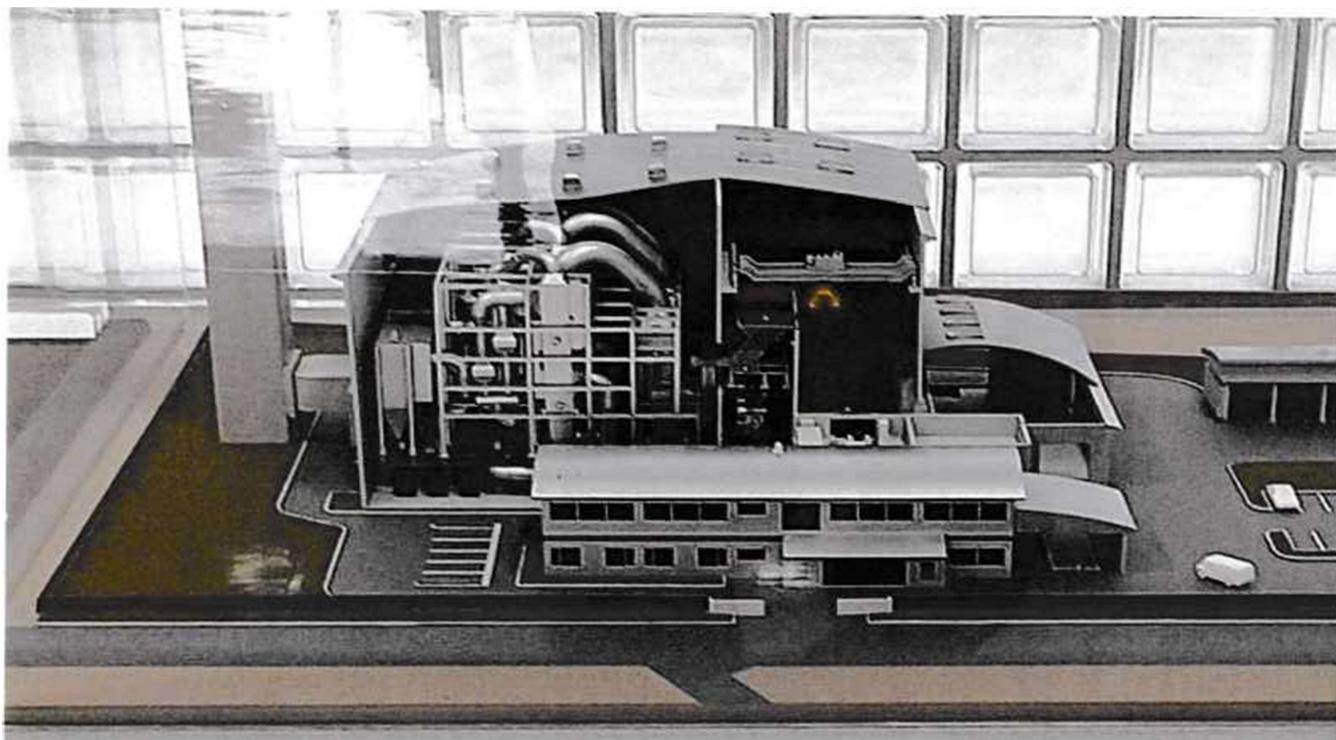
- ① ・ダイオキシン類は給じん装置による定量供給と、焼却炉による高温燃焼により分解します。
(800℃~900℃)
- ② ・消石灰および活性炭をろ過式集じん器入口に吹き込み、ろ布表面で塩化水素ガスを除去し、
合わせてばいじんとダイオキシン類を除去します。

【自動化・省力化】

・コンピュータにより徹底した自動化を図り、施設全体の運営を中央制御室で集中監視、
操作を行いまた焼却炉の燃焼も自動燃焼制御を行い、最適な燃焼状態を維持しています。

【余熱の利用】

- ① ・焼却炉の廃熱を利用した空気予熱器により高温空気を作り、燃焼空気として使用します。
- ② ・白煙防止用空気加熱器により作った高温空気は煙突入口で排ガスと混合し、白煙の発生を防止します、
- ③ ・温水発生用空気加熱器および温水発生器により温水を作り、施設内の給湯や冷暖房は施設敷地内の融雪ロードヒーティング(温水間接循環式)や、隣接している場外余熱利用設備の()冷暖房や床暖房および温水プール(らくチーノ)の熱源として利用しています。



IV 新川広域圏事務組合粗大ごみ処理施設 「宮沢清掃センター」

① 施設概要

◇施設名称	新川広域圏事務組合 宮沢清掃センター屋内式新最終処分場
◇敷地面積	45,239㎡
◇建築面積	3,9655.76㎡
◇構造階数	鉄骨造平屋建
◇屋根・外壁仕上げ	屋根・・・幕 外壁・・・鋼板
◇埋立容積	54,000㎡
◇貯留構造物寸法	(内寸)幅30mx奥行110mx深17m
◇埋立対象物	一班廃棄物 (破碎不燃物)
◇埋立期間	平成25年度から約15年間

